

# 4 消防団員用防火衣等購入 仕様書

令和 4 年度  
茨城県 神栖市

## 第1 総則

### 1. 目的

この仕様書は、令和4年度に神栖市（以下「当市」）が消防団員用の防火衣等一式を購入するにあたり、消防団員用防火服＜赤城工業株式会社製 C A S V A N カムイプロファイターC U X - D C K M - O R K（団員用）＞、消防団員用防火帽＜赤城工業株式会社製A K K - F 2（シールド付）＞、消防団員用防火服しころ＜赤城工業株式会社製C A S V A N＞、消防団員用L E Dヘッドライト＜GENTOS 製S R - 2 4 4 D H＞、消防団員用防火手袋＜株式会社ダイコープロダクト製D K - 7 7 7 完全防水ケブラー手袋＞、消防団員用防火長靴＜赤城工業株式会社製A K K - 2 5 5＞について必要な事項を定めることを目的とする。

### 2. 購入品目及び数量

品目	数量
防火服(コート型)	57着
防火帽	57個
しころ	57枚
ヘッドライト	57個
防火手袋	57双
防火長靴	57足

### 3. 条件

この消防団員用防火衣等一式は、十分に品質管理を行った材料及び附属品を用いた仕上がりが優美な製品であり、この仕様書のすべてを満たすものでなければならない。

また、消防活動上の安全性確保する為に必要な防護性能と強度を有すると共に、全般にわたって検査が施されていなければならない。

### 4. 書類等の提出

- ・原反出荷引受証明書及び品質証明書

### 5. 見本の作成

受注者は契約後、当市が要求した場合はこの仕様書に基づき見本を作成し、当市の承認を受けること。

6. 工業所有権に関する事項

この防火衣一式について、工業所有権に関する法令に抵触する事項等の有無に十分留意するものとし、権利を侵害しないこと。

なお、問題が発生した場合は受注者側が責任を持って解決すること。

7. 検査等

(1) 完成検査及び納品時検査

別途指示する方法とする。

(2) 不良品の処置等

納品後であっても、不備または相違があるときは、速やかに修理又は取替を行うこと。

8. 品質管理

受注者は、納入前に自主検査を行うとともに、製作工程上の品質管理の適正をはかること。

9. 納入場所

神栖市日川 1 6 9 9-2 5 外 5 6 箇所（各消防機庫） 地内

10. 納入期限

令和 5 年 3 月 2 4 日（金）

11. その他

(1) 本仕様書に疑義が生じた場合は当市担当者と協議のうえ、これを決定する。

(2) 本仕様書に記載が無い事項及び製品の改良に伴う仕様変更がある場合、当市担当者と綿密な打ち合わせを行うこと。

(3) 下記要件を満たす同等品以上のものを可とするが、入札公告に定める質問締め切りまでに書面等による質問を行うこと。

## 第2 仕様

### 1. 防火服(コート型)

#### (1) 構成

防火服は、外衣と内衣(透湿防水兼断熱層)で構成される多層構造とする。

#### (2) 材料等

##### ① 外衣生地

外衣身頃は耐熱性、通気性、放熱性、柔軟性に優れた生地を使用し、接炎や熔融金属等の高温物質の飛散・滴下に対して貫通や熱収縮を最小限にとどめ、被災時の安全性を確保すると同時に、優れた着用性と高い放熱効果によって活動性の向上と熱中症リスクの低減をはかるものとする。

(ア) 主記事は合成繊維(炭素系)を使用したリップストップ構造の織物とし、高い安全性と優れた着用性を両立するものとする。規格等は、別表の外衣主生地[防火服 別表1]とする。

(イ) 配色生地はアラミド繊維を主原料とするリップストップ構造の織物とし、安全性と視認性を両立するものとする。規格等は別表の外衣配色生地[防火服 別表2]とする。

##### ② 内衣生地

内衣は透湿防水兼断熱層とする。また、合成繊維(炭素系)を主体とした熱拡散効果の高い基布に PTFE メンブレンをラミネートしたものを使用する。高い透湿防水性能を有することで快適性を確保し、熱中症リスクの低減をはかるものとする。規格等は別表の内衣生地[防火服 別表3]とする。

##### ③ 補助材料等

規格等については[防火服 別表4]のとおりとする。

#### (3) 外観及び寸法等

① 外観は[防火服 概要図1]のとおりとする。

② サイズ別の寸法は[防火服 別表5]のとおりとする。

#### (4) 構造

##### ① 概要

(ア) 防火服コートの外衣と内衣はそれぞれ縫製後、袖口と身頃周囲で縫い合わせ、裾部はふらし、面ファスナーで固定できる構造とする。

(イ) 防火服コートの積層は高耐熱性・高放熱性・低蓄熱性・高透湿性生地を使用し防火服内の温度上昇を抑え、被災時の火傷リスクや熱中症リスクの低減が可能な構造とする。

- (ウ) 袖口等の開口部からの水の浸入を防止できる構造とすること。
- (エ) 使用する生地は、消防活動に適した機能、強度、柔軟性を有し活動性と安全性を確保する為に肩、腕は勿論、上半身全体の運動に対して抵抗が少なく、着用者の疲労が低減できる構造とする。

## ② 外衣

- (ア) 外衣は左右前身頃と後身頃を左右肩当てと脇身頃で連結させる 構造とする。
- (イ) 左右袖は上袖，下袖，脇マチにより構成する。身頃から脇マチ，下袖，上袖へと立体的に構成することにより，あらゆる運動に対し抵抗を生じずスムーズな動きが可能な袖付けとする。また，左胸パッチポケット雨蓋，左右腰パッチポケット雨蓋，ベルトループ，背ヨークはオレンジ色の外衣配色生地[防火服 別表 2]を使用し，[防火服 概要図 1]のとおりとする。
- (ウ) 袖口は內衣袖口持ち出しと外衣袖口を合わせ特殊ポリマーコーティング生地で補強を施すこと。
- (エ) 前合わせは金属ファスナーと面ファスナーを併用した開閉式とし，水除け付きとする。
- (オ) 反射テープはダブルステッチにて取り付ける。
- (カ) 衿は屈曲しづらい構造で，前合わせはチンストラップで固定できる構造とする。
- (キ) 衿付け中央部に衿吊りを取り付ける。
- (ク) 携帯無線機マイク用ループは胸部左右に取り付ける。
- (ケ) 前身頃左右各 1 ヶ所と後身頃に 1 ヶ所ベルト通しを取り付ける。
- (コ) 見返し縁はパイピング仕立てとする。
- (サ) 左右腰部に雨蓋付きの三方マチ付きパッチポケットを設ける。また，下部マチにはハトメ穴を 2 ヶ所設けることとする。
- (シ) 左胸に 2 分割雨蓋付きの三方マチ付きパッチポケットを設ける。また，下部マチにはハトメ穴を 1 ヶ所設けることとする。さらに，ポケット内部には無線機ホルダーを設ける。
- (ス) 後身頃下部内側に內衣連結用の面ファスナーを縫い付ける。
- (セ) 背ヨークは指定場所に文字をプリントすること。フォント及び文字サイズ等は契約締結後当局担当者と協議の上決定する。

## ③ 內衣

- (ア) 身頃は左右前身頃，左右脇身頃，後身頃から構成するものとする。
- (イ) 袖は上袖，下袖，脇マチ，袖口，持ち出しから構成するものとする。
- (ウ) 袖口先には指定のフライスを取り付ける。

- (エ) 袖口，持ち出しは透湿防水生地とし，外衣とは持ち出しで縫い合わせる。
- (オ) 裾は外側に折り返し裾部に外衣との連結用面ファスナーを縫い付ける。
- (カ) 前身頃内側に警告ラベル，氏名片布を縫いつける。

[防火服 別表 1]

防火服外衣生地（表生地） 規格一覧

名称	表生地	
項目	仕様規格等	試験方法等
品番	C U X 2 4 0 T R	
構成	合成繊維（炭素系）を主原料とするリップストップ構造の織物とする。なお、難燃剤による後加工処理は不可とする。	
混用率	合成繊維（炭素系）+アラミド + その他繊維 65%（±5） レーヨン 30%（±5） ナイロン 5%（±3）	
色合	ネイビー	
組織	リップストップ	
重量	240g/㎡（±20）	JIS L 1096
加工	撥水・撥油加工	
以下 試験項目		
燃焼性	残炎時間 ≤2 秒 残じん時間 0 秒 炭化面積 ≤5 c ㎡	JIS L 1091 A-1 法 45° ミクロバーナー法 (加熱時間 1 分間)
引張抵抗	たて≥1200N よこ≥1200N	JIS L 1096 A 法 ストリップ 法
引裂抵抗	たて≥100N よこ≥100N	JIS L 1096 A-1 法 シングルタン グ 法
撥水性	≥4 級	JIS L 1092 スプレー試験
制電性	≤7 μ c /㎡	JIS T 8118
収縮率	たて<3% よこ<3%	JIS L 0217 103 法
抗菌性	抗菌活性値>増殖値（洗濯 10 回）	JIS L 1902 菌液吸収法
ピリング	≥4 級	JIS L 1076 10 h
染色堅牢度	耐光（変退色）≥4 級	JIS L 0842
	洗濯（変退色）≥4 級	JIS L 0844 A-2 号

[防火服 別表 2]

防火服外衣生地（配色地）規格

名称	配色地	
項目	仕様規格等	試験方法等
品番	AKC200TR	
構成	メタアラミド繊維を主原料とするリップストップ構造を持つ織物とする。なお，難燃剤による後加工処理は不可とする。	
混用率	メタ型アラミド 80%（±5） パラ型アラミド 20%（±5） 導電性繊維使用	
色相	オレンジ	
組織	リップストップ	
重量	200 g /㎡（±20）	
加工	撥水・撥油加工	
以下 試験項目		
燃焼性	残炎時間 ≤2 秒 残じん時間 0 秒 炭化面積 ≤5 c ㎡	JIS L 1091 A-1 法 45° ミクロバーナー法 （加熱時間 1 分間）
引張抵抗	たて≥1200N よこ≥1200N	JIS L 1096 A 法ストリップ 法
引裂抵抗	たて≥100N よこ≥100N	JIS L 1096 A-1 法シングルタンク 法
撥水性	≥4 級	JIS L 1092 スプレー試験
帯電性	≤7 μ c /㎡	JIS T 8118
収縮率	たて≤3% よこ≤3%	JIS L 0217 103 法
ピリング	≥4 級	JIS L 1076 10 h
染色堅牢度	耐光（変退色）≥3 級	JIS L 0842
	洗濯（変退色）≥4 級	JIS L 0844 A-2 号

[防火服 別表 3]

防火服內衣生地（透湿防水生地）規格

名称	透湿防水生地	
項目	仕様規格等	試験方法等
構成	合成繊維（炭素系）を主原料とする織物に透湿防水メンブレンを圧着加工したもの。なお、難燃剤による後加工処理は不可とする。	
基布混用率	合成繊維（炭素系）を 30%以上使用することとし、混用率は特に問わない。	
色相	グレー	
防水性	PTFE メンブレンラミネート加工	
以下 試験項目		
燃焼性	残炎時間 $\leq 2$ 秒 残じん時間 0 秒 炭化面積 $\leq 10 \text{ cm}^2$	JIS L 1091 A-1 法 45° ミクロバーナー法 (加熱時間 1 分間)
引張強度	たて $\geq 600 \text{ N}$ よこ $\geq 600 \text{ N}$	JIS L 1096 A 法ストリップ 法
引裂強度	たて $\geq 50 \text{ N}$ よこ $\geq 50 \text{ N}$	JIS L 1096 A-1 法シングルタング 法
帯電性	$\leq 7 \mu \text{ C} / \text{m}^2$	JIS T 8118
収縮率	たて $< 3\%$ よこ $< 3\%$	JIS L 0217 103 法
抗菌性	抗菌活性値 $>$ 増殖値（洗濯 10 回）	JIS L 1902 菌液吸収法
ピリング	$\geq 4$ 級	JIS L 1076 10 h
染色堅牢度	耐光（変退色） $\geq 4$ 級	JIS L 0842
	洗濯（変退色） $\geq 4$ 級	JIS L 0844 A-2 号
透湿度	$\geq 900 \text{ g} / \text{m}^2 \cdot \text{h}$	JIS L 1099 B2 法
耐水度	$\geq 294 \text{ kPa}$	JIS L 1092 B 法（K-6404-7）

[防火服 別表 4]

補助材料 防火服コート

品名	規格	用途
面ファスナー	難燃面ファスナー	ポケット，衿，前立
ファスナー	金属製オープンファスナー	前立
フライス	アラミド又はカーボン系ニット	袖口
反射布	橙/シルバー/橙 約 75mm 幅(団員用)	胸，背中，裾周囲，袖
座付きハトメ	金属製	ポケットマチ
表示布	不滅インク印刷	警告ラベル，氏名片布
補強布	特殊ポリマーコーティングアラミドニット	袖口
パイピング	難燃性織物	見返し
縫製糸	アラミド糸 30/3，45/3	地縫い，ステッチ，ロック

[防火服 別表 5]

防火服コートサイズ表

単位：cm

	着丈	胸囲	衿丈
S	85	116	80
M	85	120	83
L	90	124	86
L L	95	130	89
3 L	100	138	92
4 L	100	148	92

許容差+2-1  
別寸とする。

\*上記サイズ表に該当しないサイズは

防火服コート外衣

【団員用】

<前側>



<後側>



## 2. 防火帽

### (1) 性能

労働安全衛生法(昭和 47 年法律第 57 号)第 42 条の規定に基づく保護帽の規格(平成 3 年厚生労働省告示第 39 号)に適合するものとする。

### (2) 外観等

① 外観は[防火帽 概要図 1]のとおりとする。また、堅牢かつ滑らかなる帽体及び強靱なる着装体及びあご紐，しころ止め等で構成されたものとする。

② 材質等は[防火帽 別表 1]のとおりとする。

### (3) 帽体

① 形はセミジェット兜式とする。

② 材質は FRP(ポリエステル樹脂による強化プラスチック)とし、衝撃に対し高強度であり、耐熱性、耐低温性、耐食性が良いものとする。

③ 表面塗装はシルバーのウレタン表面塗装を施すこととする。

④ 前章は指定消防団章とする。

⑤ 左右両側面に左から「神栖市消防団」と黒色、丸ゴシック体で表示する。

⑥ 前章を跨ぐように、テープを帽周に巻くこと。なお、テープの詳細については契約締結後当市担当者と協議の上決定する。

### (4) 衝撃吸収ライナー

材質は発泡スチロールとする。

### (5) 装着部品

① ヘッドバンドはポリエチレン樹脂製で後部にてダイヤル式でサイズ調整が可能なものとする。

② ハンモックはポリエチレン樹脂製で被りの高さ調整が可能なものとする。

③ 汗止めは合成皮革とする。

④ あごひもは合成繊維製(幅 18mm)で黒色。抗菌、防臭処理のしているものとする。

⑤ 丸かんは鉄でニッケルメッキ仕上げのものとする。また、ワンタッチバックルは樹脂製とする。

⑥ シコロバンドはポリエチレンでホックによってシコロの取り外しが可能なものとする。

⑦ ビラかんは鉄でニッケルメッキ仕上げのものとする。

### (6) シールド

帽体内格納式とする。

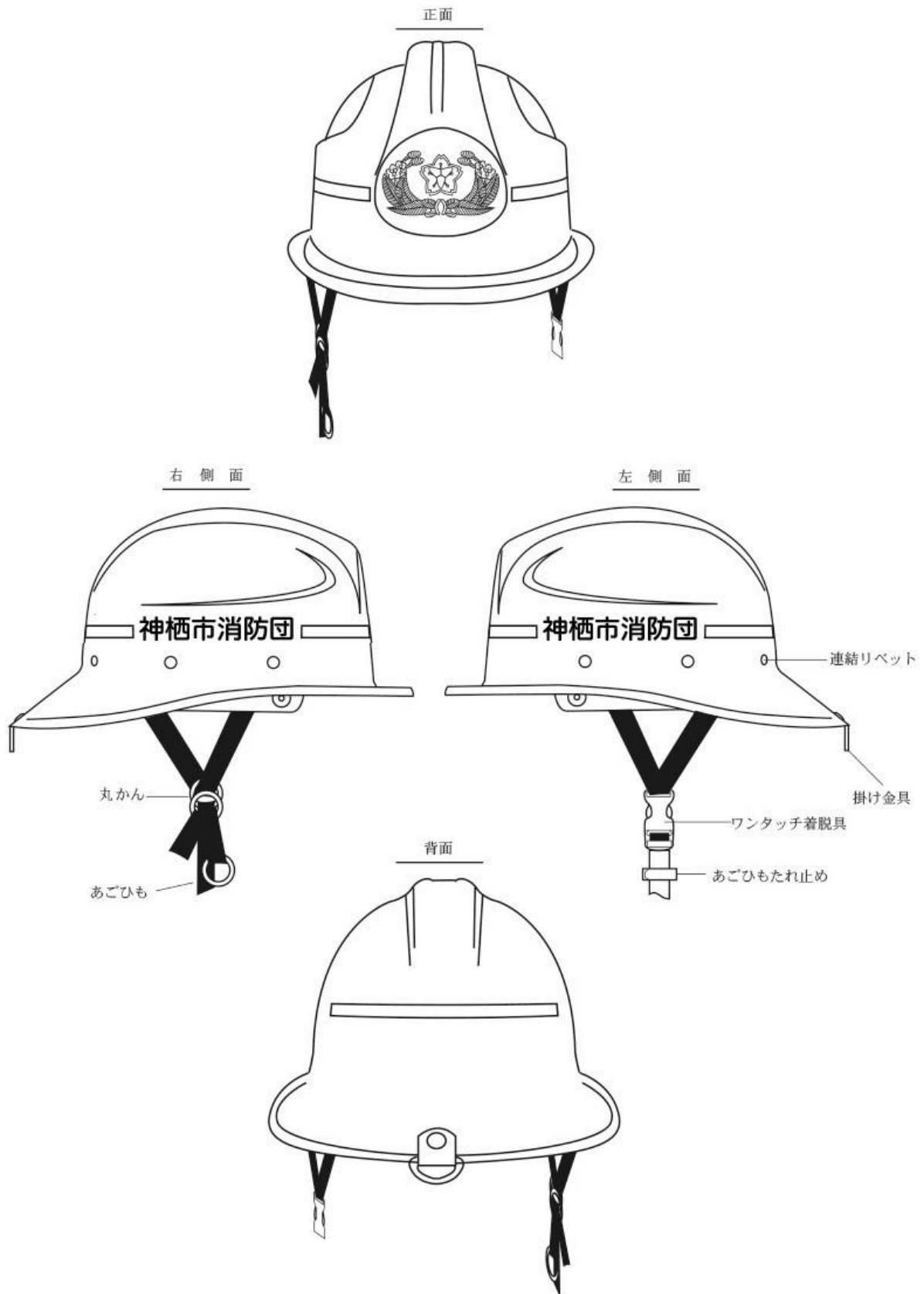
(7) 重量

800g 以下とする。

[防火帽 別表 1]

項目		内容
帽体	本体	材質 ポリエステル樹脂 (F R P) 表面 焼付け塗装 (シルバー)
	徽章	材質 塩ビ (反射 3 D 形成)
	標識	材質 塩ビ (ブラック)
着装体	ハンモック	材質 ポリエチレン
	転結リベット	材質 真鍮
	ヘッドバンド	材質 ポリエチレン
衝撃吸収ライナー		材質 発泡スチロール
あごひも		材質 P P
重量		8 0 0 g 以下
使用区分	①飛来・落下物用 ②墜落時保護用	

〔防火帽 概要図 1〕



### 3. しころ

#### (1) 材料等

##### ① 表面生地

表面と見返しは, 防火服コートの外衣主生地と同一生地[しころ 別表 1]とする。

##### ② 裏面生地

裏面は PTFE メンブレン加工の透湿防水生地とする。

##### ③ 補助材料等

規格は[しころ 別表 2]とする。

#### (2) 外観

[しころ 概要図 1]とする。

#### (3) 構造

① 表面, 裏面で構成される二層構造とし, 見返し部は三層とする。

② 左右前重なり部に面ファスナーを逢着し裏面に貫通しない構造とする。

③ 表面先端と折り返し受け部には固定する為のドットボタンを取り付ける。

④ 当市の指定する位置に防火帽取り付け用ドットボタンを取り付ける。

⑤ 防火帽取り付け用ドットボタン以外は裏面に貫通しない構造とする。

⑥ 見返し部には氏名ラベルを逢着する。

[しころ 別表 1]

## 防火服外衣生地（表生地） 規格一覧

名称	表生地	
項目	仕様規格等	試験方法等
品番	C U X 2 4 0 T R	
構成	合成繊維（炭素系）を主原料とするリップストップ構造を持つ織物とする。なお、難燃剤による後加工処理は不可とする。	
混用率	合成繊維（炭素系） + アラミド + その他繊維 <div>65%（±5） レーヨン30%（±5） ナイロン5%（±3）</div>	
色合	ネイビー	
組織	リップストップ	
重量	240g/m <sup>2</sup> （±20）	JIS L 1096
加工	撥水・撥油加工	
以下 試験項目		
燃焼性	残炎時間 ≤2 秒 残じん時間 0 秒 炭化面積 ≤5 c m <sup>2</sup>	JIS L 1091 A-1 法 45° ミクロバーナー法 （加熱時間 1 分間）
引張抵抗	たて ≥1200N よこ ≥1200N	JIS L 1096 A 法 ストリップ 法
引裂抵抗	たて ≥100N よこ ≥100N	JIS L 1096 A-1 法 シングルタンク 法
撥水性	≥4 級	JIS L 1092 スプレー試験
制電性	≤7 μ c / m <sup>2</sup>	JIS T 8118
収縮率	たて <3% よこ <3%	JIS L 0217 103 法
抗菌性	抗菌活性値 > 増殖値（洗濯 10 回）	JIS L 1902 菌液吸収法
ピリング	≥4 級	JIS L 1076 10 h
染色堅牢度	耐光（変退色） ≥4 級	JIS L 0842
	洗濯（変退色） ≥4 級	JIS L 0844 A-2 号

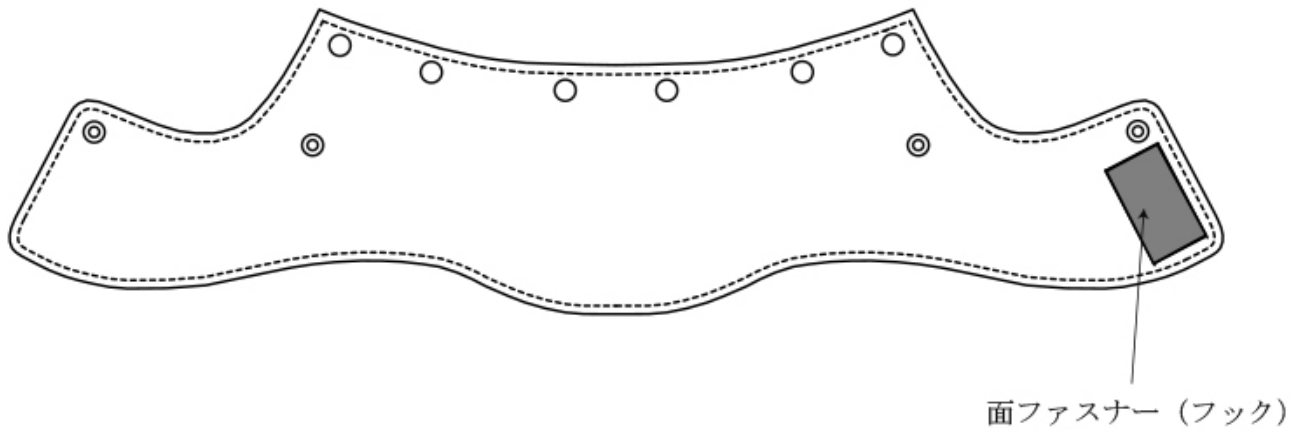
[しころ 別表2]

補助材料 しころ

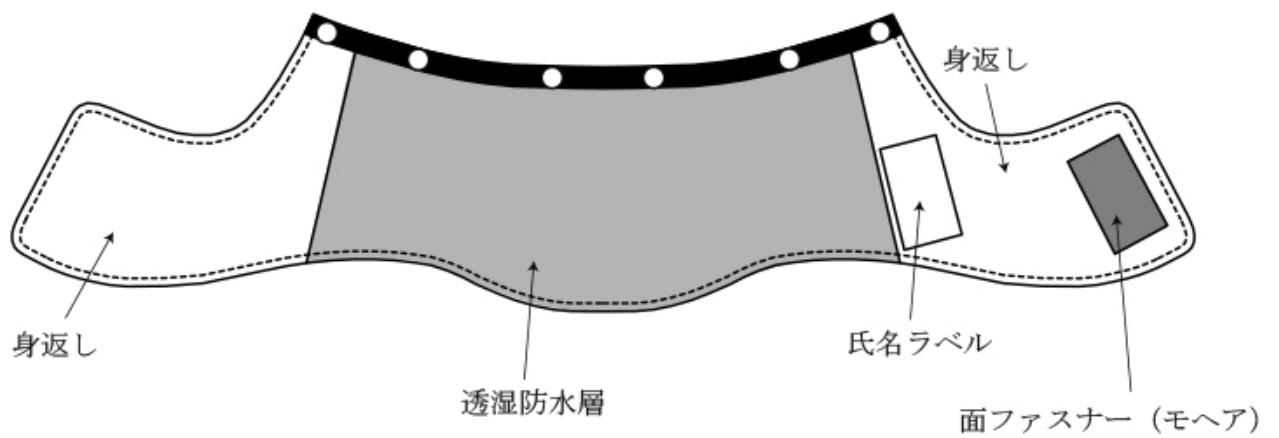
品 名	規 格	用 途
面ファスナー	難燃面ファスナー	前合せ
ドットボタン	金属製	見返し止め部，帽体接続部
表示ラベル	不滅インク印刷	氏名片布
縫製糸	アラミド糸	地縫い，ステッチ

[しころ 概要図 1]

<しころ 表面>



<しころ 裏面>



#### 4. ヘッドライト

(1) 適合規格等

- ① 特長：25m防水仕様（IP68準拠），マグネットスイッチ採用
- ② 明るさ：200ルーメン（Highモード時），70ルーメン（Ecoモード時）
- ③ 電池寿命：実用点灯 約4時間（Highモード時），実用点灯 約9時間（Ecoモード時）
- ④ 使用光源：高輝度チップタイプ白色LED×1個
- ⑤ 使用電池：単4アルカリ電池×4本
- ⑥ 本体サイズ：W110×H45×D72mm
- ⑦ 本体質量：195g
- ⑧ 付属品：ラバーバンド，Oリンググリス，テスト用電池

## 5. 防火手袋

### (1) 全体

- ① 全ての材料は、十分に検査され本仕様書[防火手袋 別表 1]の要求を満たすものを使用する。
- ② 運針数は、25mm間に8～12針とする。
- ③ 縫い代は、2～3mmとする。
- ④ 縫い目には、縫い飛びやはずれの無いこと。
- ⑤ 糸調子は、縫い目が優良で縫い曲がりの無いこと。
- ⑥ 縫い初め及び縫い終りの糸止めは、返し針を行い完全に糸止めをすること。
- ⑦ 中層のポリウレタンフィルムはシェル内側に3Dラミネーションオーブン方式で全面圧着すること。
- ⑧ 商品完成後、水漏れの無い様漏水機テスターで全数検査後出荷をすること。

### (2) 甲飾り

甲ナックル部に牛革六角カットに5mm厚ウレタンを中間層にあて、5本ステッチで取り付けること。

### (3) 掌及び指アテ革

- ① 縫製個所により、縫い込み又は外縫いを使い分けて縫製する。
- ② 掌部にアテ革を縫い付ける。(添付図参照)
- ③ 人差し指第一関節上部から親指第一関節に掌部から甲部に渡りつなぎ目のない1枚のアテ革を縫いつける。(添付図参照)

### (4) 手首絞り

甲側二本、掌側一本の帯ゴムを縫い付ける。

### (5) 袖口止め

面ファスナーを所定の位置に縫いつける。

### (6) 袖口

裾部をPU合成皮革テープで縁取り縫いをする。

### (7) 片布

手袋内層部に、氏名及びサイズ片布を縫い付ける。

#### ① 氏名片布

白布に所属・氏名表示をした片布を内層内側に縫い付ける。

(34 x 41mm)

② サイズ片布

白布でサイズ表示をした片布を縫い付ける。

(8) 構造一般

① 正常に着装した場合

(ア) 指先等に不要なだぶつきがないこと。

(イ) 指, 甲, 掌等のバランスがとれ, 着装感がよく, 着装時に簡単に緩んだり脱げたりしないこと。

(ウ) 容易に生地又は縫い目にほつれが生じないこと。

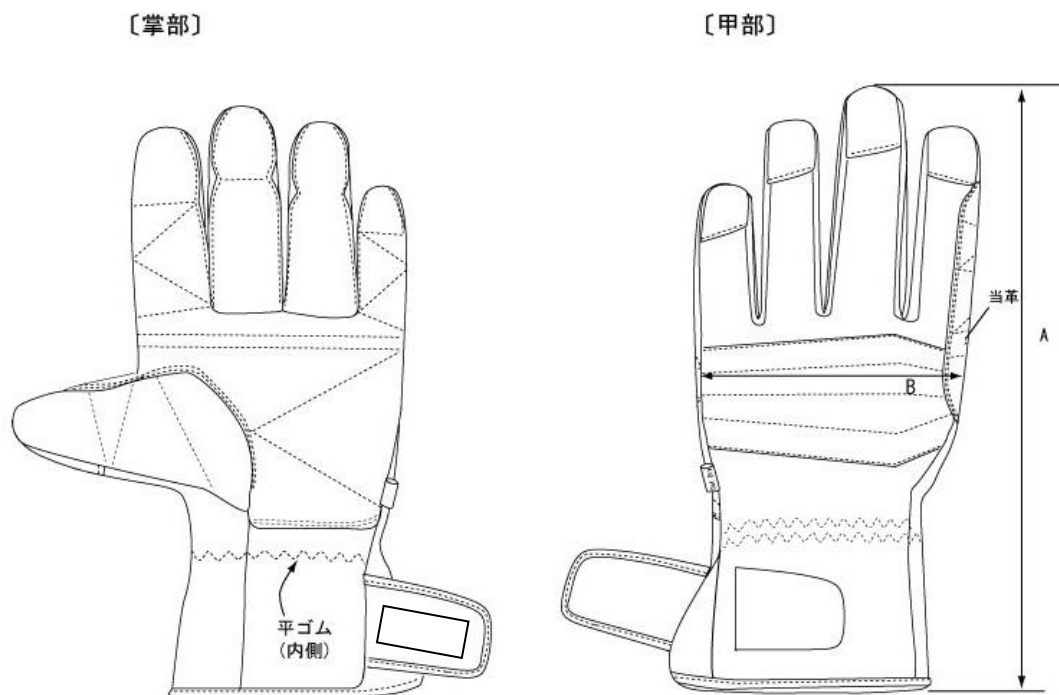
② 手袋に使用する各部の材料は, すべて良質の物を使用し, 完成品は寸法, 形状等が本仕様書に定めるとおりであり, 傷, むら, 斑点, 汚れ, その他外観を損なうようなものがあってはならない。

③ ベルトに「神栖市消防団」の刺繍ワッペンを取り付けること。

(9) その他

製品は1双ごとに耐光シルバー袋に入れ, 外部からサイズが確認できるようにサイズシールを貼る。

DK-777 仕様図



	S	M	L	LL	3L
A	260	270	280	290	300
B	105	110	115	120	125

〔防火手袋 別表 1〕

使用材料

部品名	規格	
甲側 親指甲側 三角マチ	外層 交編編物(Wニット)であること。(別表 1)	
	表面	: パラ型アミド (20/1)
	裏面	: メタ型アミド (20/1)
	目付け	380 g/m <sup>2</sup> ±20 g
	色相	ネイビー
中層	透湿防水ポリウレタンフィルムにホットメルト加工を施し, シェル内側に 3D ラミネーションオープン方式で全面圧着する。	
内層	綿 100% 白生地段ボールニット	
掌側 親指掌側	交編編物(Wニット)であること。(別表 2)	
	表面	: パラ型アラミド (20/1)
	裏面	: 100% 綿糸
	目付け	: 340 g/m <sup>2</sup> ±20 g
	色相	: 黄色
掌側アテ革	牛本革 (表使い, 厚さ: 0.6 mm 以上) 中茶	
氏名札	綿 100%	
縁取りテープ	PU 合成皮革	ネイビー
手首絞り	8C 強力ゴム	
縫糸	面ファスナー, 氏名札及び縁取りテープはポリエステルスパン糸 上記以外はパラ系芳香族ポリアミド繊維 裏縫糸は #50 綿糸	
袖口開閉止め	面ファスナー (フックテープ) 65 x 45 x 3.5 mm ネイビー 面ファスナー (ナッピングテープ) 65 x 45 x 3.5 mm ネイビー	

## 6. 防火長靴

### (1) 構造

- ① [防火長靴概要図 1]のとおりとする。
- ② 爪先の胛部分の上部に先芯を入れ補強用の先芯ゴムを貼り付ける。
- ③ 靴底に踏抜き防止板を入れたものとする。
- ④ 靴底はプレス加工したもので[防火長靴概要図 2]の例による。
- ⑤ 靴底にはサイズ及び製造業者名(略号も可)を表示する。
- ⑥ 膝カバーは V8 アルミックスを用いて外側上部に吊り手を付ける。

### (2) 包装

- ① 一足毎に紙袋に収納する。
- ② 長靴を包装するのに適切なものとする。
- ③ 品名・サイズ・年月を表示する。
- ④ JIS 認証番号を表示する。

### (3) 使用材料

次の表のとおりとする。

部 品 名	使 用 材 料
胴ゴム・胛ゴム	配合ゴム, 胴ゴムは厚さ 1.2mm 以上
先 芯	鋼製品(T8101)
表 底	配合ゴム
長 靴 裏 布	30/1200 スフメリヤス グレー
踏抜き防止板	鋼板もしくはステンレス板(JIS T8101)
爪 先 補 強	先芯ゴム配合
膝 カ バ ー	V8 アルミックス
か け 環	引掛カン 20mm
股 締 バ ン ド	16 コール 18mm 白
ア イ レ ッ ト	小判ハトメ 21mm
吊 り バ ン ド	綿テープ 生成 20mm

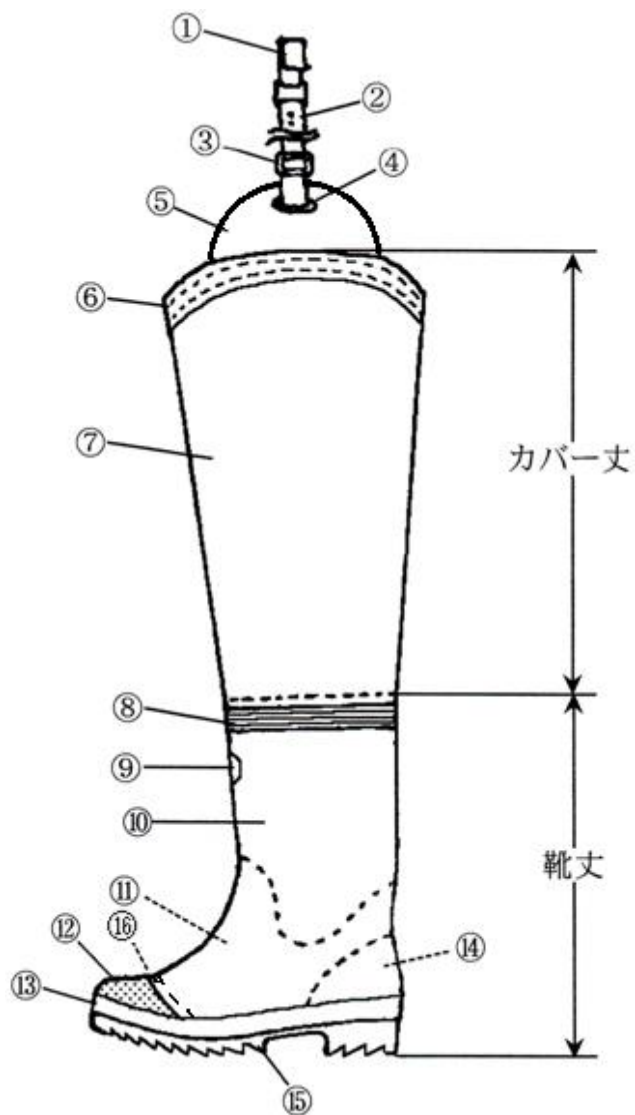
(4) 性能

次の表のとおりとする。

部 品 名	規 格
胴 ゴ ム	1 引張試験 引張強さ 13.0Mpa 以上 伸び 420%以上
脰 ゴ ム	2 老化試験 引張強さの残留率 80%以上
表 底 ゴ ム	1 引張試験 引張強さ 9.0Mpa 以上 伸び 350%以上 2 老化試験 引張強さの残留率 80%以上
裏 布	破裂試験 破裂強さ 400N 以上 (S5005)
踏 抜 防 止 板	JIS T8101 (安全靴) 適合品を使用 1100N 以上
先 芯	JIS T8101 (安全靴) 適合品を使用

※試験の方法は JIS T8101 (安全靴) による。

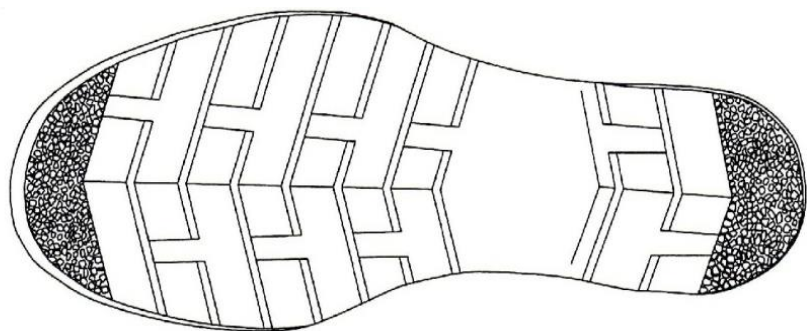
[防火長靴概要図 1]



位置	名称
1	かけ環
2	吊りバンド
3	バックル
4	アイレット
5	吊り手
6	股締バンド
7	膝カバー
8	化粧テープ
9	製品マーク
10	胴ゴム
11	胛ゴム
12	先芯ゴム
13	外巻テープ
14	後バチ
15	本底
16	先芯

[防火長靴概要図 2]

靴底 リップル底 登録意匠番号：1399873



(5) 寸 法

寸法は次表のとおりとする。

完成品の寸法表

① 後丈寸法

(単位：cm)

S I Z E	靴 丈	カ バ ー 丈
22.0	33.0	48.0
22.5	33.0	48.0
23.0	33.0	48.0
23.5	34.0	48.0
24.0	34.0	48.0
24.5	34.0	48.0
25.0	35.0	48.0
25.5	35.0	48.0
26.0	36.0	48.0
26.5	36.0	48.0
27.0	37.0	48.0
27.5	37.0	48.0
28.0	37.0	48.0
29.0	37.0	48.0

(許容差±1.0cm)

② 表底の寸法

(単位：mm)

部 分	寸 法
ふ ま ず 部	2.5 以上
踏み付主要部(山を含む)	6.0 以上